

第6弾ヴィンテージタウン連携縁卓会議を開催!

～「ひと」「組織」が繋がり、地域のちからを育てよう～

・日 時 2019年11月23日(土) 14:00~16:30 ・場 所 ユニティ セミナー室(3) ・参加者46名
・主 催 西神ニュータウン研究会 ・共催 神戸研究学園都市大学交流推進協議会(ユニティ) ・後援 神戸市西区役所

1. 連携活動の発表

□地域×学生 地域活動の歩みー「学園まちピカ大作戦」とともに

神戸市外国語大学 奥村紗貴さん 久龍茉央さん 学園都市連絡会議 岩本政則さん

◇4回目の「まちピカ」は、学園西町、東町の共同行事「美しい町作戦」に、組み込まれました。32チーム136人、地域、外大ボランティア62人の参加となり、大成功だった。町をキレイにするだけでなく、ゴミ拾いを通して、地域の活性化、外大と地域住民の方々との結びつきを強めることができました。
◇1年中断したが、西町、東町が意見交換して存続を決めました。(岩本さん)
◇最初は外大から声をかけた。喜んでもらえるようになった。(外大・木場さん)



□実験力 神戸芸術工科大学 櫻井ノマドさん 山下哲平さん

NPO コミュニティかりば 佐野正明さん

◇実験は可能性を拡げ未来を創ります。地域とつながりを持って、ものづくりをしたいので、今回は、ユニバードーム、かりばプラザに広場を創る実験をします。資金は、クラウドファンディングに挑戦し、多くの人から資金提供という形で、参画してもらいます。近々、OMこうべ(管理者)に、提案をする予定です。又、西区役所のこども学びの場づくり(D-ラーニング)にも参画し、かりばのこどもの創造力育成の場になってます。



◇学生の魅力づくりの着眼点、実験力を、地域として生かしたい。(佐野さん)

□兵庫県立大学の明舞団地プロジェクトの10年

～ゼミ活動から授業プログラムへの発展～ 兵庫県立大学 西川祥子さん

◇2009年、「まちなかゼミ」をオープン。地域イベントに参加するなかで、学生主体の企画へと深化した。2017年より、学部横断授業「地域コミュニティの創生を担う人材の育成を目指すプログラム(CP)」のフィールドとなり、「地域の人」とともに考え実践することを学んでいます。現在も、シニア世代自らが作るオリジナルの旅の企画支援等の活動が続いています。

2009年 経済学部のサテライト教室として「明舞まちなかラボ」がオープン。

2017-2018年 兵庫県立大学の学部横断授業「コミュニティ・プランナー(CP)プログラム」のフィールドとなる



□中高生の居場所づくり事業～大学生のボランティアの関わり～

流通科学大学 藤崎美夕樹さん NPO ユースプラザ西2009 芝和子さん

◇児童ボランティア部 ALL-INとして、「ユース西」の運営に参画。中高生が「したいこと」を自身で取り組む「夢企画」(あるテーマで話し合う「みんなの茶話会」など)の支援もやっています。お互いに意見を出し合い企画することで中高生が育っています。私たちも企画力、コミュニケーション能力が向上するなど、「ユース西」は、「居場所であり、成長の場」だと思います。

◇大学生は、自主的に参画。彼らは、自分自身で考え、中高生と共に育っている。これを大事にしたいです。(芝さん)



□高塚山におけるアーバンキャンプの取り組み

神戸市立工業高等専門学校 守山大河さん 高塚山を愛する会 内藤富夫さん

◇「アーバンキャンプ」は、昨年のシンポジウムで提案があり、愛する会、子ども会、高専で共同開催。都市公園なので、原則キャンプ不可ですが、「地域



主導の子供の環境教育の社会実験」という形で実現できました。子ども達は、火を使ってご飯を作るとか、木登りするなどの体験をして楽しむことができました。この社会実験を経て、里山利活用のモデルを構築したい。

◇子ども会など地域のつながりを作っていただき、感謝です。(内藤さん)

◇ニュータウンに背を向けている里山を、愛する会が切り拓かれた。それが、**学生の貴重なフィールド**になった。感謝です。(高専・高田先生)

□思春期ピアカウンセリング

神戸市看護大学 長船瑞季さん 佐藤友里乃さん

◇ピア(なかま)カウンセリングは、中高生のなかまと“生”と“性”について「いっしょに悩んで、話し合う」そんな活動です。大学生は年齢も近く、話しやすいのです。活動は、中学校、高校で授業として実施。月1回名谷でピアルームを開催、中高生が来てくれます。地域の力を育てるため、**中高生が自分らしく生きる居場所づくり**をがんばりたい。

□神戸みらい学習室について

神戸市職員有志 小林正則さん 神戸市外国大学 櫻井 渉さん

◇すべての子どもたちに、等しく教育の機会を、という理念のもと、神戸市職員有志が、2017年8月、ユニティにて開校。週1回の勉強とともに、模擬面接、保護者面接などを実施しています。開校して2年、学力がアップし、成果が出てきています。特に、「夢ゼミ」は、大学生が夢や就活体験などを語るゼミで、「勉強が自分の可能性を拡げてくれると気づいた」など好評です。

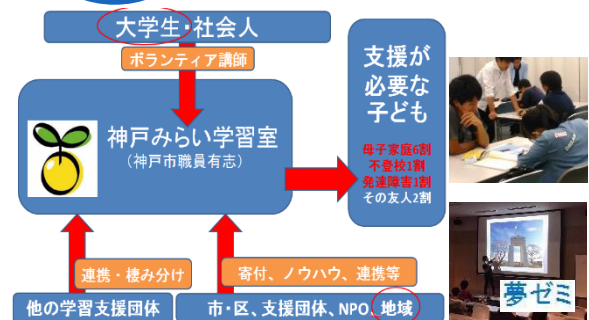
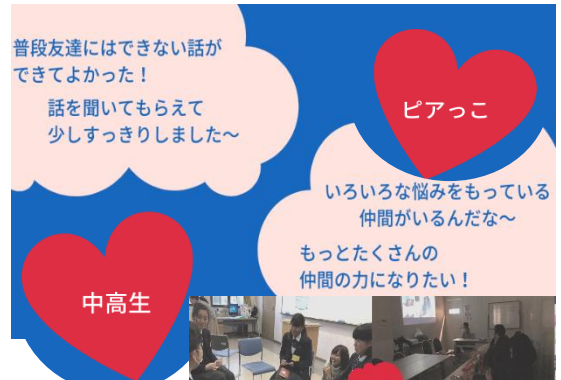
◇**地域のみなさんの力をいただきながら活動を拡げたい**。(代表佐々木さん)

□かいばすまいを考える会等の活動支援

いきいき下町推進協議会 三輪康一さん NPO コミュニティかりば 佐野正明さん

◇「いき下協」は、神戸市が呼びかけたまちづくりの専門家集団。2018年、かりば地区で、景観講座を地元の方の参加で開催。2019年になり、景観だけでなく高齢者のすまい、空き家の問題なども検討しようという機運が生まれ、「すまいを考える会」が生まれた。NPO といき下協が連携して進めようとしています。現在、空き家活用の活用アイデアコンペを実施中で、今後、**かりばで、具体的な動き**につなげたい。

◇地域の課題が広がる中、知識を持つ**専門家との連携が必要**です。(佐野さん)



2. 学生、地域、大学、支援組織、行政関係者によるトーク

◇継続的活動も重要だが、プロジェクト型もあるのでは。目的と期限を決める方法で、学生も1年ならやる気になるし、初めての人も参加しやすい。**人が集まるプロジェクトを積み重ねることで継続的に活動が繋がる**。それと、成果が出ないときは、やめるということも必要。成果がでるまでやるのは、しんどいという面もある。人が集まれば、つながってゆく。(高田先生)

◇まちピカでは、半年間携わる中で地域の方との**つながりが強まり、関係が深まっていった**。そこから、次のステップとして、こちらの独りよがりではなく、地域のニーズに沿って、**次々と連携活動が加わり、連携活動全体がふくらみ、深まっていけば、なおいちいと思う**。今ちょうど、学生市民救命士の活動を、地域と共同できないかという話が持ち上がりつつある。(木場さん)

□**衣川西区長コメント** 西区は6大学1高専があり強みである。学生には、創造力、行動力などがあり、この力を地域につなぐことは重要。区役所もどう関わるか模索したい。**みなさんとも一緒に考えて、地域力をアップすることに力を注ぎたい**。

□**最後に** これまでの情報を、**情報バンク**等の形で、残したい。このような「**つながりの場(緑卓会議)**」を続けましょう。

(文責 橋本)